

徳島小松島港 中期構想

令和2年3月



国土交通省 四国地方整備局
小松島港湾・空港整備事務所



徳島県
県土整備部 運輸政策課

徳島小松島港中期構想の背景・目的

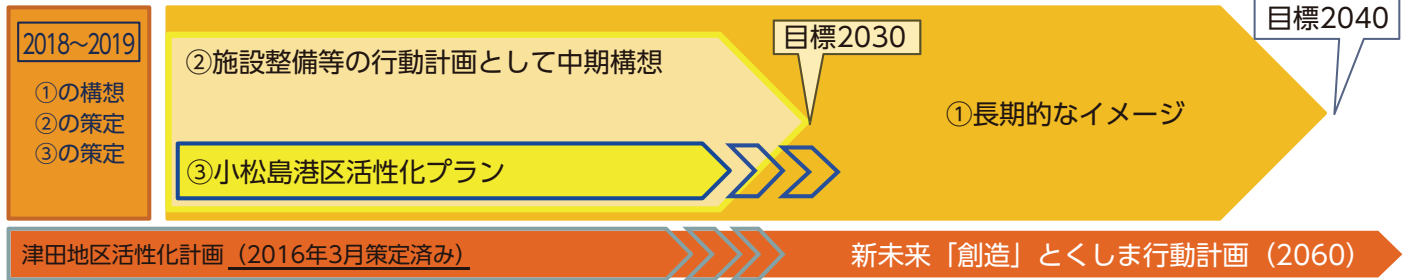
背景

港湾背後への高速道路延伸、新たな企業立地の動向、クルーズ船寄港の増大、トラックドライバー不足、南海トラフ地震等の切迫性の高まり、港湾施設等の老朽化、陳腐化など徳島小松島港を取り巻く状況は大きく変化。

目的

以下に挙げる①～③を目的に、学識者、港湾関係者、行政による「徳島小松島港中期構想・活性化検討委員会」を組織し、港の将来について検討。

- ①徳島小松島港の長期的(概ね20年程度)なイメージを構想。
- ②長期的なイメージを見据え、中期的(概ね10年程度)な計画として中期構想を策定。
- ③中期構想との整合を図りつつ、港からの活性化方策を小松島港区について策定。



徳島小松島港に求められる要請

要請 1 農林水産物の輸出促進

政府は農林水産物の輸出を「2020年までに1兆円規模へ拡大」することを掲げ、現在も引き続き輸出促進を実施しています。

徳島県においても、輸出促進の取組が推進されており、徳島小松島港からの農産品輸出に取り組んでいるほか、令和2年度には県産の原木が中国へ輸出されました。

今後は、安定した供給体制の構築やより積極的な地場産品の輸出促進が求められています。

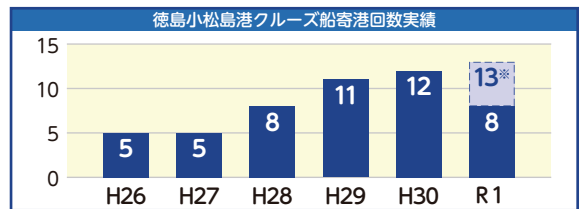


金磯地区での原木輸出状況

要請 2 港湾地域での観光振興

徳島小松島港では近年、クルーズ船の寄港が増加しています。今後の寄港増加に対応できるよう、港湾地域に賑わい施設を設けることがより求められています。

また、徳島へのインバウンド増加に対応できるよう、海上交通ネットワークの充実を図るなど、港湾における賑わい・観光・産業振興対策も求められています。



大型クルーズ船の寄港
(マジェスティックプリンセス)

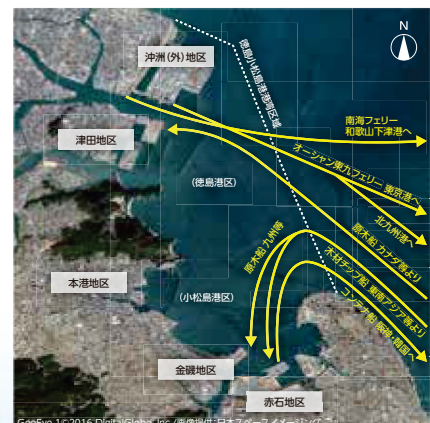


徳島伝統芸能「阿波人形浄瑠璃」
を観覧するクルーズ観光客

要請 3 地域経済の活性化

近年、徳島小松島港を取り巻く環境が大きく変化するなか、国内外への物流拠点となる徳島小松島港には、国際貿易の拠点となるコンテナターミナルや、四国唯一の東京航路を有する内貿フェリーターミナルなどの物流基盤に加え、近辺では木質バイオマス発電所の立地・稼働なども予定されています。

港湾における物流基盤の充実・強化を図ることで、地域経済の活性化に貢献していくことが求められています。



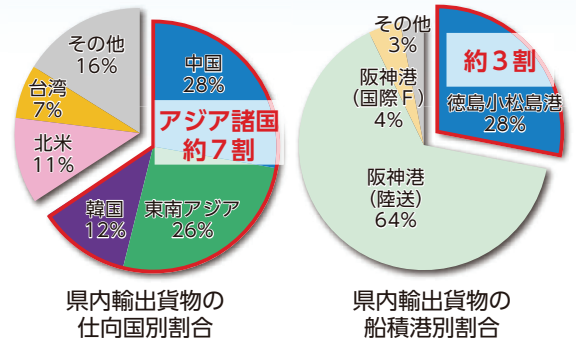
徳島小松島港における主要な海上物流ルート

徳島小松島港の課題

課題1 県内輸出貨物の徳島小松島港利用率が低い

徳島県内貨物の輸出仕向国は、中国・東南アジア・韓国といったアジア諸国が約7割を占めています。

一方、徳島小松島港から仕向国へ直接輸出される貨物の割合は全体の約3割に留まっており、残りは阪神港へ陸上輸送された後に輸出されるなど、非効率な輸送が行われています。



課題2 船舶の大型化による沖待ちの発生等への対応

海上輸送の効率化を図るため、貨物輸送船舶は大型化が進んでおります。赤石地区では、寄港するコンテナ船や木材チップ船の大型化により、係留の際に同一係船柱の使用や係船ロープの交差、さらには一方の船舶の沖待ちが発生するなど、安定的な荷役ができないケースが発生しています。



課題3 港湾施設の老朽化・陳腐化への対応

徳島小松島港には建設後40年以上経過している港湾施設が多く、一部の施設では荷役が禁止されるなど、港湾利用に支障が生じており、早急な老朽化対策が必要です。

また近年の船舶の大型化により、例えば津田地区岸壁(-10m)では係留に必要なスペック(延長、水深)が足りないなどといった施設の陳腐化が生じており、ドルフィンや係船柱の追加設置、潮待ちしての入港など応急的な対応を強いられています。



課題4 港湾倉庫等立地のための用地不足への対応

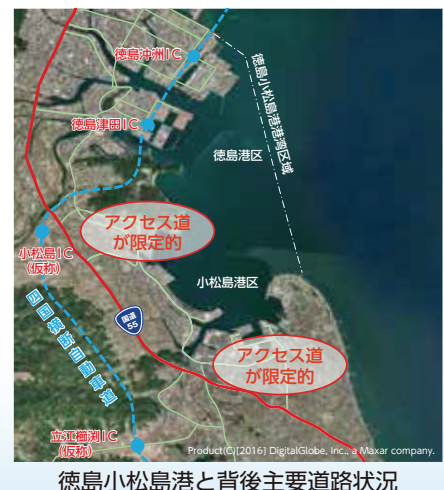
徳島小松島港には港湾倉庫の建設需要があるものの、ほぼ空き地がない状況です。

津田地区では2016年3月に「津田地区活性化計画」がとりまとめられ、徳島津田ICの開通に合わせて第3水面貯木場の埋立を実施中であり、新たな土地造成が行われています。



課題5 港湾と背後地のアクセスの改善

徳島小松島港の背後では四国横断自動車道の整備が進み、物流の効率化が期待される一方、特にコンテナターミナル等を有する小松島港区において、四国横断自動車道や国道55号からの港湾へのアクセス道が限定的であり、港湾利用者から改善要望が出ている状況です。



徳島小松島港の一步先の未来

新しい価値観を発信す

大正

大正12年
小松島新港地区の修築工事を直轄施工により着手

昭和

昭和9年
小松島新港地区が完成

昭和26年
小松島港が重要港湾に指定される

昭和35年
本港地区に水深9mの岸壁が完成



昭和43年
金磯地区に水深9mの岸壁が完成



昭和48年
金磯地区に水深11mの岸壁が完成



平成

平成5年
マリンピア沖洲第一期工事が竣工



令和

沖洲(外)地区

津田地区

本港地区

金磯地区

赤石地区

徳島小松島港港湾区域



長期イメージ(2040) ~バックキャスト(理想の将来)

物流防災

時代の転換期に対応した港湾へ

四国の東

未来の姿

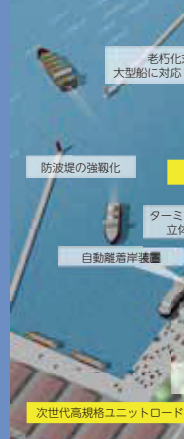
- ①次世代高規格ユニットロードターミナルの拠点
- ②AI国際物流ターミナルの拠点
- ③災害時の港湾機能継続

徳島県の未来には

安全安心「とくしま」の創造への貢献

大規模災害に備えた広域的な連携強化に貢献する内航ユニットロード

物流・防災



賑わい観光

徳島ならではの歴史・文化を活かした魅力ある港湾へ

水陸一体

未来の姿

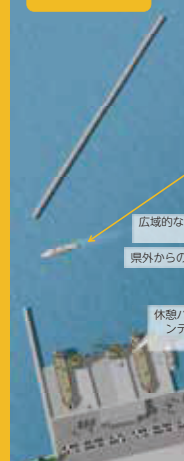
- ①クルーズ船を迎える海の玄関
- ②内航船の安全支援拠点

徳島県の未来には

世界へはばたく「とくしま」の創造への貢献

観光資源を掘り起こし、磨き上げ、魅力ある海に開けた空間形成に貢献

賑わい・観光



環境への貢献

次世代技術による環境負荷低減に資する港湾へ

次世代技

未来の姿

- ①次世代エネルギー活用拠点
- ②地場産業を支える物流拠点

徳島県の未来には

環境先進とくしまの創造への貢献

臨海産業地帯等次世代エネルギーを活用した産業競争力の強化に貢献

環境への貢献



将来)～

玄関とくしま「AIターミナル」



的な活用による魅力あるとくしま「臨海空間」



術を取り込み強靱化したとくしま「臨海産業地帯」



産業振興に貢献する付加価値の高い港湾へ

中期構想(2030) ~フォーキャスト(課題・要請への対応)~

物流

次世代技術の導入による物流効率化により、「四国地域全体の活力増大」を実現

基本施策 1：船舶の大型化や老朽化した港湾施設の再整備等による物流機能の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
大型船舶に対応した岸壁整備	大水深岸壁の整備	○→	赤石
	荷役機械の大型化	○→	
大型船舶の複数接岸	バース再編	○→	赤石
	ふ頭用地の確保	○→	
コンテナ物流の地元港湾利用の拡大	新規航路の開設及び国際フィーダー航路の充実	→	赤石
	陸上輸送の効率化(コンテナラウンドユース等)	○→	
老朽化・陳腐化した港湾施設の再整備、強靱化	老朽化・陳腐化した岸壁・防波堤の再整備、強靱化	→	各地区
	重要インフラ緊急点検に基づく対策	→	
	長寿命化計画に基づく点検・維持管理	→	

基本施策 2：四国横断自動車道の開通による物流機能の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
港湾と背後地アクセスの改善	IC 整備に合わせたアクセス道連結	→	各地区

賑わい・観光

世界各地から寄港するクルーズ船寄港増大による、「世界に誇れる徳島・小松島」と近海を航行する内航船の寄港による、「日本に誇れる徳島・小松島」を実現

基本施策 3：クルーズ船・内航船の寄港増大や賑わい施策充実等による海上からの集客機能の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
乗船客の満足度の向上	船舶の規模やタイプにあった岸壁の提供及び背後地の充実	→	沖洲(外) 本港
	乗船客をはじめ港湾来訪者の多様なニーズを取り込んだ賑わい施策や憩い空間の充実	→	金磯 赤石
海上からの集客機能の強化	新たな「海上交通」の導入	→	県下全域を対象に検討

基本施策 4：来訪する観光客のアクセス道改善等による陸地の周遊機能の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
寄港地・観光地として満喫できる港づくり	アクセス道改善による観光周遊のための滞在時間の拡大	○→	本港
	歴史や文化施設等街の回遊ルートの港まで延伸	○→	
	港のシンボル化による集客増大	→	
	小型船だまり(ポートパーク)の充実・適正利用	→	
			各地区

産業振興









徳島小松島港と背後地域の特色を生かした産業振興による「アジア地域等世界との繋がり」を実現

基本施策 5：新規需要及び関連する産業の誘致等による産業振興の強化

具体的な施策	取組み内容	取組み時期	地区
企業の立地・誘致による地域経済への波及拡大	大水深岸壁の整備	○→	津田
	企業の誘致	→	
農林水産物の輸出促進	状況に応じた新たな用地造成の検討	○→	-
	ふ頭用地の拡大・整備	○→	津田
	IC 整備に合わせたアクセス道連結	○→	赤石

課題・要請と対応方針

対応

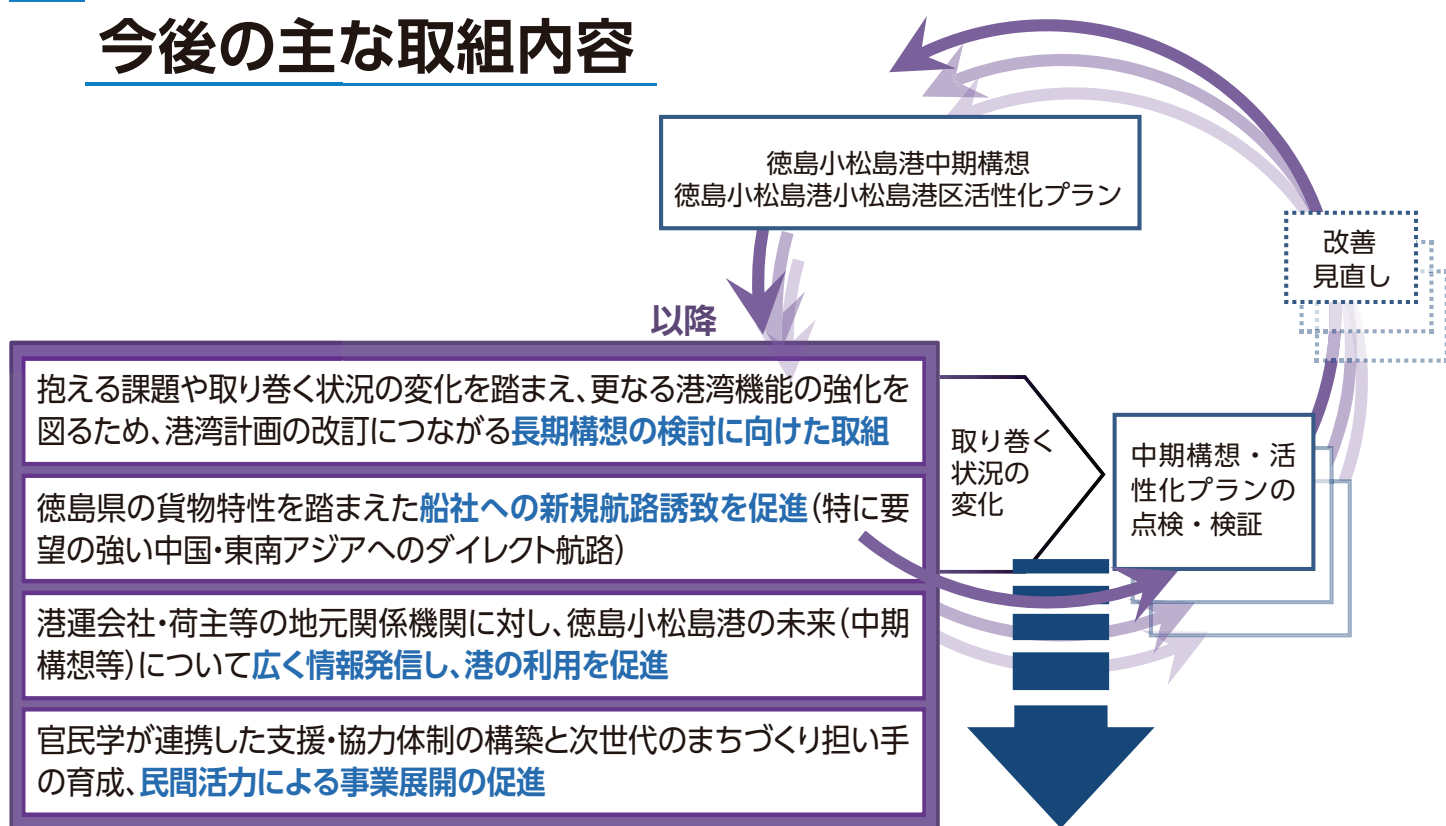
-  ←課題1
外貿コンテナ(県内貨物)の徳島小松島港集貨への対応
-  ←課題2
船舶の大型化による沖待ちの発生等への対応
-  ←課題3
港湾施設の老朽化・陳腐化への対応
-  ←課題4
港湾倉庫等立地のための用地不足への対応
-  ←課題5
港湾と背後地のアクセスの改善
-  ←要請1
農林水産物の輸出促進
-  ←要請2
港湾地域での観光振興
-  ←要請3
地域経済の活性化

→ : 着手済み ○→ : 今後着手予定

中期構想実現に向けて

中期構想等では、徳島小松島港が抱える課題と将来的な要請を整理し、これに対して、船舶の大型化や老朽化した港湾施設の再整備などによる物流機能、クルーズ船・内航船の寄港増大や賑わい施策充実などによる海上からの集客機能の強化、新規需要及び関連する産業の誘致などによる産業振興の強化等の施策を進めることで、便利で、使い勝手の良い「みなと」を目指すことにしています。なお、中期構想等は、今後の徳島小松島港の利用や整備についての方向性を示しつつ、取りまく状況の変化を考慮しながら構想自体の点検、検証と改善、見直しを行うこととしています。

中期構想実現に向けた 今後の主な取組内容



この中期構想等は、徳島小松島港を利用、整備する方々は勿論、さらに広く県民、市民の方々にも手にとっていただき、そこからさらに中期構想等の発意や創造へと発展することを期待します。

問合せ先

国土交通省 四国地方整備局
小松島港湾・空港整備事務所 企画調整課 TEL：0885-32-3855
徳島県県土整備部運輸政策課 TEL：088-621-2582